

腸内細菌外来はじめました！！

腸内フローラ検査とは？

腸内には数百種類、数十～数百兆個の常在細菌が住みついています。様々な種類の細菌が住み着いている様子を花畑にちなんでフローラ(=細菌叢)と呼んでいます。最新の腸内フローラ検査「Mykinso Pro」を当院では導入しております。少量の採便をして頂くだけの簡単な検査方法で大腸内に住んでいる細菌について調べることができます。

1.採便



2.検査キットを郵送



3.外来にて結果説明



検査を行うことのメリット

細菌の研究では腸に関わる疾患の他にアレルギー、うつ、糖尿病、リウマチ、認知症などの様々な疾患との関連も示唆されております。自分の体調と検査結果を照らし合わせ、自分自身のデータとの比較を繰り返すことで、自分に合った腸内フローラのバランスの把握ができるようになります。

医療法人社団創福会 ふくろうクリニック等々力

〒158-0082 東京都世田谷区等々力3-5-2ヒューリック等々カビル3階

TEL [03-5758-3270](tel:03-5758-3270) FAX [03-5758-3271](tel:03-5758-3271)

当院の腸内フローラ検査でわかること

<太りやすさ> <<菌の多様性(細菌の種類の数)>>
<主要な細菌の割合(乳酸菌、ビフィズス菌、酪酸産生菌、エクオール産生菌)>
<腸のタイプ> <腸内の菌構成> <腸内環境の推移> <便秘・下痢のタイプ判定>

なかでも私たちの健康に大きく関わっていることがわかってきた短鎖脂肪酸を産生する「酪酸産生菌」や、高い程ストレスや環境変化に適応しやすくなると言われている「多様性」は非常に重要といわれています。

良い腸内フローラを育てるためには

腸内フローラは食事によって大きな影響を受けることが分かってきております。当院では検査結果を踏まえた腸内フローラ改善のための食事のコツなどのアドバイスやサプリメントの紹介・販売等を行っております。

検査費用

本検査は保険外「自費」となります。価格:2万円(税込)

医師の診察と管理栄養士による指導(保険で出来ることもあります)

腸内細菌外来は毎週水曜日午後(予約制) 担当:原田 美佳子



医療法人社団創福会 ふくろうクリニック等々力

〒158-0082 東京都世田谷区等々力3-5-2ヒューリック等々力ビル3階

TEL [03-5758-3270](tel:03-5758-3270) FAX [03-5758-3271](tel:03-5758-3271)

腸内環境が認知症に影響？ 国立長寿研が分析

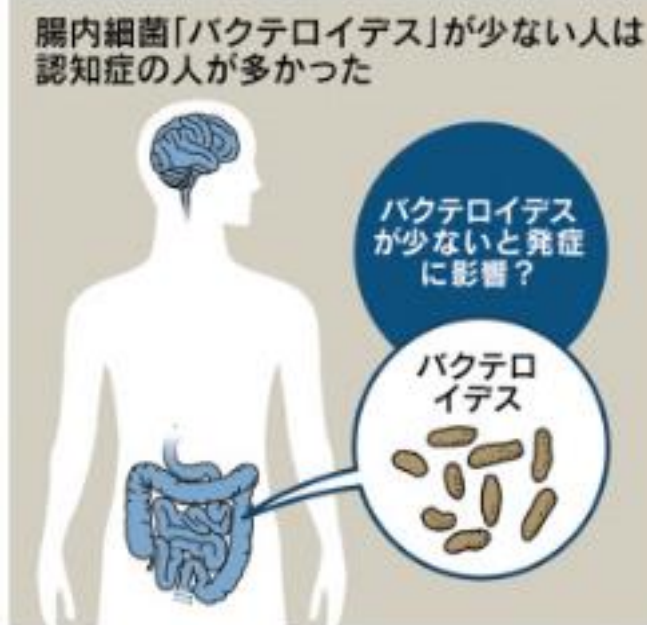
社会

2019/1/30 19:11

国立長寿医療研究センター（愛知県大府市）は30日、腸内の状態が認知症に強く関連があるとする論文を発表した。認知症の人は腸内に「バクテロイデス」という細菌が少なく、認知症でない人は多い傾向があった。同センターは「食生活や栄養環境の面で、認知症のリスクを減らす糸口が見つかるきっかけになる可能性がある」と話している。

調査は東北大、久留米大などと共同で手掛けた。16年3月～17年3月に同センターもの忘れ外来で受診した男女180人を対象に、便に潜む細菌のDNAを抽出し、腸内細菌の集合体「腸内フローラ」の構成を解析した。有効なデータを得られた69～81歳の128人分について認知症の発症状況と照合した。

その結果、認知症の人はバクテロイデスが少なく、種類不明の細菌が占める割合が多いことが判明。年齢や性別の影響を除いた上で、腸内フローラが認知症発症に与える影響の度合いを解析したところ、バクテロイデスが多い人は、そうでない人に比べて罹患（りかん）率が約10分の1になった。バクテロイデスが少なく種類不明の細菌が多い人はそうでない人に比べ罹患率が約18倍だった。



腸内細菌を巡っては、心疾患や糖尿病、肥満に与える影響が指摘されている。認知症発症との因果関係は不明だが、腸内の細菌状態が脳の炎症を引き起こす可能性が考えられるという。同センターはメカニズムの解明に向けて研究を続ける。

同センターの佐治直樹もの忘れセンター副センター長は「認知症の早期発見や予防を考える上で、腸内の細菌状態が目安になる」と研究の意義を話した。

論文は同日、英科学誌サイエンティフィック・リポート（電子版）に掲載された。